

令和 8 年 9 月 1 日

海事局 船員政策課

令和 8 年度「船員安全・労働環境取組大賞（SSS 大賞）」決定！

海事局では、船員の安全や労働環境の向上に係る優れた取組を「船員安全・労働環境取組大賞」として表彰し、その取組の普及啓発、活用促進を図っています。

本年 8 月のトリプルエス大賞選考委員会での審査の結果、本年度は 4 件（大賞 1 件、特別賞 3 件）の取組が選定されました。

受賞者については以下のとおり海事局長表彰を行います。

1. 船員安全・労働環境取組大賞（SSS 大賞）とは

「船員安全・労働環境取組大賞」は、第 12 次船員災害防止基本計画における取組の一環として実施している表彰制度。この大賞の略称は「SSS（トリプルエス）大賞」（Award for Safety and Smart Environment for Seafarers）です。

2. 受賞者の概要等（詳細は別紙参照）**「船員安全・労働環境取組大賞」**

受 賞 者： 東亜建設工業株式会社/東亜海運産業株式会社/信幸建設株式会社

取組の名称： 作業船員の水中転落を検知し、救助初動を支援
「広域通信型 落水者救援支援システム」

「船員安全・労働環境取組特別賞」（3 件）※五十音順

受 賞 者： 株式会社辰巳商会/玄海汽船株式会社

取組の名称： 実践型練習船 ケミカルタンカー「新玄海」の就航

受 賞 者： 津軽海峡フェリー株式会社

取組の名称： AI・DX を活用した ISM 連動型ヒヤリハット情報管理システムによる船員災害防止と安全対策強化、船員労働環境向上の取組み
ーヒヤリハット情報の電子化・ペーパーレス化と Safety II を見据えた安全文化醸成ー

受 賞 者： 株式会社西村組

取組の名称： “作業船”から“海上防災拠点”へ
ー 船員の命と地域を守る備蓄体制の構築

3. 表彰授与式

日 時： 令和8年9月9日（水） 13:10

場 所： 国土交通省海事局長室

（千代田区霞が関2－3－1 中央合同庁舎3号館9階）

内 容： 海事局長より表彰状を授与

※全体取材及びカメラ撮影可。

取材を希望される方は、令和8年9月7日（月）17時まで下記メールアドレス宛にご連絡ください。



【問い合わせ先】

海事局船員政策課労働環境対策室 浅野、鈴木

（代 表）03-5253-8111 （内 線）45-146、45-144

（直 通）03-5253-8652

（メール）hqt-senin@mlit.go.jp

【船員安全・労働環境取組大賞】

○受 賞 者：東亜建設工業株式会社/東亜海運産業株式会社/信幸建設株式会社

○取組名称：作業船員の水中転落を検知し、救助初動を支援

「広域通信型 落水者救援支援システム」

○取組内容：

- ・水を検知すると信号を発信するセンサーと、LPWA (Low-Power Wide-Area Network: 省電力広域ネットワーク) 規格の GNSS を組み合わせることで、落水事故の発生を瞬時に検知し、落水者の位置が追跡できる「広域通信型 落水者救援支援システム」を開発。

先進的	・水検知センサーによって落水事故の発生を把握するだけでなく、LPWA 規格の GNSS (LoRa/ELTRES) を組合せ、落水者の位置情報をリアルタイムにて把握可能。 ・携帯電話が圏外となる海域においても、長距離・長時間通信が可能であり、従来技術では困難であった広域での位置追跡を実現。 ・同分野での導入事例の少ない、LPWA を活用した GNSS による位置取得は、事故検知と位置追跡を一体化した取組。
模範的 実践的	・落水検知から位置把握、追跡、救助支援までを一連で実現する実践的な安全対策であり、港湾工事に従事する各種作業船へ適用可能な汎用性。 ・他現場への水平展開が可能な標準モデルであり、携帯電話が使用できない環境への対応など、船員特有のリスクへの着目。
効果的	・落水発生時に位置情報を即時取得・表示でき、従来の課題であった「発見遅れ」を大幅に低減し、迅速な救助行動が可能。 ・長距離・長時間通信を維持しながら位置情報の取得と追跡が可能な部分は既存技術では代替が困難であり、海上作業の安全水準を飛躍的に向上。

【船員安全・労働環境取組特別賞】

○受賞者：株式会社辰巳商会/玄海汽船株式会社

○取組名称：実践型練習船 ケミカルタンカー「新玄海」の就航

○取組内容：

- ・ 海事産業の高度化及び人材育成の課題に対応するために設計された実践型練習船の導入。
- ・ 同社の小型ケミカルタンカーにおいて、船員育成を重視した船舶設計は初の事例であり、その主な特徴は以下のとおり。

① 居住空間の改善（生活空間を重視したレイアウト）

- ✓ 総トン数を 499 トンから 507 トンとし※、法定定員外に 4 部屋の船員室を確保

② 熱中症対策として甲板・ハウス周りの労働環境の改善

- ✓ 荷役甲板上の熱中症対策として、ミストシステムを導入。
- ✓ 廊下内船舶管理にエアコンを設置し、荷役中の短時間休憩における環境を改善。

③ 船舶管理

- ✓ 海上ブロードバンドサービスを採用し、気象・海象データを安定的に取得することで、船長の判断をサポート
- ✓ 主機メーカーの新システムを導入。遠隔モニタリングによる保守の最適化。

④ 教育制度の導入（メンター制、カリキュラム導入）

- ✓ ①の船室の確保により、指導員及び複数部員の乗船が可能となり、教育の標準化及び船員の業務負担軽減が実現。

※ 船員の確保・育成のために居住区域を拡大した結果、総トン数が 500G/T 以上 510G/T 未満となった船舶のうち、「船員育成船舶」の確認を受けた船舶は、乗組基準及び設備規則の一部について、499G/T 以下の船舶と同一の基準で運航することが可能である。

先進的	・ 主機の遠隔モニタリングにより保守性を向上。 ・ 運転状況の自動アップロードにより労務時間を改善。
模範的 実践的	・ 教育カリキュラムの構築により、OJT を標準化
効果的	・ 若手船員の育成を目的に「内航未来創造プランに基づく緩和措置」を活用し、居住区を拡張により、指導員（メンター）及び複数部員の同時乗船を可能とし、指導員がつくことで教育の標準化及び新人を受け入れるベテラン船員の業務負担の軽減。 ・ 「快適な海上労働環境の形成のために船舶所有者が講ずべき措置に関する指針」に対応すべく、乗組員全員が同時に集合できる大型の食堂をレイアウトし、大型テレビや立体音響設備を設置するシアタールームを併設するなど、作業環境及び居住環境を改善。

○受賞者：津軽海峡フェリー株式会社

○取組名称：AI・DXを活用したISM連動型ヒヤリハット情報管理システムによる
船員災害防止と安全対策強化、船員労働環境向上の取組み

-ヒヤリハット情報の電子化・ペーパーレス化とSafetyⅡを見据えた安全文化醸成-

○取組内容：

- ・船員の安全性及び労働環境向上を目的としてAIを活用したヒヤリハット情報管理システムの導入により、安全管理業務のDX化を推進。
- ・AIを活用したヒヤリハット情報管理システムを導入し、船舶及び陸上部門が共通のプラットフォーム上で情報が管理できる体制を構築。
- ・当該システムをISMと連携させることで、ヒヤリハット報告から原因分析、是正措置、水平展開までを一元管理。
- ・ヒヤリハット情報のリアルタイム共有により、発生事例を迅速に全船へ水平展開できる体制を構築。

先進的	・フェリー業界に先駆けて、AIを活用したヒヤリハット情報管理システムの導入により安全管理業務のDX化を推進。 ・システムをISM（安全管理システム）と連携させ、ヒヤリハット報告から原因分析、是正措置及び水平展開までを一元管理できる体制及び「なぜ日常業務が安全に遂行されているのか」等に着目するSafetyⅡの考え方を取り入れ、現場の生産的安全を評価するためのデータを蓄積できる仕組みを構築。
模範的 実践的	・電子報告が容易に報告できる仕組みを採用し、船舶及び陸上部門が共通のシステム上で情報共有できる体制を構築し、収集した情報をAIで自動分析し、全船及び陸上管理者へリアルタイムにて共有。 ・船員の負担軽減と安全性向上を両立しながら運用できる、他の事業者も導入・展開が可能な仕組み。
効果的	・事務処理に費やしていた時間を安全対策の検討や教育活動へ向けることが可能となり、安全性向上及び労働環境改善を同時に実現。 ・ヒヤリハット情報の電子化及びペーパーレス化により、船員及び管理者双方の事務負担が軽減され、安全確認や運航業務、再発防止策の検討など、注力すべき業務により多くの時間を充てることが可能。 ・過去事例や注意事項をAIにより容易に検索・活用できる環境の整備により、安全意識向上及び事故の未然防止に寄与の他、安全管理システム及び安全文化を醸成。

○受賞者：株式会社西村組

○取組名称：“作業船”から“海上防災拠点”へ
— 船員の命と地域を守る備蓄体制の構築

○取組内容：

- ・ 自然災害等の万が一の非常時に備え、全員の安全を確保し、命と健康を守ることができる環境を整えるため、100人が3日間（72時間）生活できる量の食料や簡易トイレ等の災害用品を備蓄。
- ・ 災害発生時に乗組員が孤立した状況に置かれたとしても、生き抜くために必要な設備と物資を整備し、大容量発電機、生活用水、トイレ、AEDなどを配備し、電源・衛生・医療の最低限の機能を維持できる体制を構築。
- ・ 備蓄品の管理に安否確認システムの備蓄管理機能を活用し、各船の備蓄状況の管理により、災害発生時での迅速な対応が可能。

先進的	・ 安否確認システムの備蓄管理機能により、社員が誰でも現状の備蓄品の管理状況を確認可能。 ・ 災害発生時に船舶を移動可能な防災拠点として活用可能。
模範的 実践的	・ 社員の安全確保にとどまらず、近隣住民の方への支援までを視野に入れた防災体制を考慮。
効果的	・ 自然災害発生後に不足しやすい電力・水・食料・衛生環境を迅速に提供できるため、社員並びに近隣住民への生活維持と安全・衛生環境を確保。 ・ 安否確認システムの備蓄管理機能により、必要な支援を迅速かつ確実に実施可能。